

応用技術	4	12月4日 (火)	メカトロニクス (講義・実習)	メカトロニクス(Mechatronics) は、機械工学、電子工学、情報工学が融合したものである。メカトロニクスシステムの代表的な例としては、ロボット、情報家電機器などが挙げられる。本講義では、メカトロニクスシステム的设计・製作法について概説する。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一
	5	平成31年 1月8日 (火)	IoT/AIの基礎 (講義・実習)	IoT(Internet of Things :モノのインターネット)技術、AI(Artificial Intelligence :人工知能)、特に機械学習や深層学習について説明する。また、最近の人工知能の産業応用事例について紹介する。実習については、Pythonを用いて深層学習のプログラミングの基礎を体験する。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一
	6	1月22日 (火)	AIの産業応用 (講義・実習)	Pythonを用いて深層学習のプログラミングの応用を体験する。車いすのインターフェイス設計に深層学習を適用した事例に、実習を行う。また、Arduinoを利用したフィジカル・コンピューティングに関する講義と実習を行う。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一 助教 楓 和憲
実践	7	1月29日 (火)	ロボット開発の 応用技術・課題設定 (グループ討論)	ロボット関連の研究室・施設見学を見学し、先端ロボティクスについて学ぶ。また、これからグループごとに設計、製造するロボットについて課題設定を行う。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一 助教 楓 和憲 外部講師他
	8	2月5日 (火)	ロボティクス製作 総合実習1 (グループ討論・実習)	グループごとにロボットの製作を行う。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一 助教 楓 和憲 外部講師他
	9	2月19日 (火)	ロボティクス製作 総合実習2 (グループ討論・実習)	グループごとにロボットの製作を行う。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一 助教 楓 和憲 外部講師他
	10	2月28日 (木)	課題成果発表・ 総合討論	グループごとに設計・製作したロボットについて、課題の成果発表を行うとともに、総合討論を行う。	大学院理工学研究科 教授 綿貫 啓一 助教 楓 和憲 外部講師

受 講 申 込 書			
企 業 名			代 表 者 名
事 業 内 容	業 種:		従 業 員 数
受 講 者 氏 名	ふりがな		
担 当 部 署 名 (役 職)	(役 職:)		
担 当 部 署 所 在 地	(〒 -)		
連 絡 先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

応募方法：上記受講申込書に必要事項をご記入のうえ、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

公募締切：随時受付（定員になり次第締切）

問合せ・申込先：埼玉大学 先端産業国際ラボラトリー 担当：今・石田・久保田

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 TEL: 048-714-2038 FAX: 048-858-9419

E-mail: robo@gr.saitama-u.ac.jp